

本学は今年、「International Strategy –Putting Learning First–」を策定し、国際化の推進に取り組んでいます。この国際化戦略の骨子は、本学が学び・教育・研究のすべての分野で国際的な大学としての地位を確立・発展させ、さらに推進するとともに、国際社会で貢献できる優秀な人材を育成することを目的としています。

この戦略の推進に向けて、①学びを最優先し、本学が多様で幅広い国際化の機会を提供することにより、学生が世界で通用するスキルを身につけ、グローバルな環境に柔軟に適応できる人材として育成すること、②学生・教職員・卒業生を含むオール中央の「中央コミュニティ」でGlobal Citizenshipとしての自覚と地球環境を次世代に守り伝えていくとのビジョンを共有してもらい、本学が国内外の卒業生と一層緊密な関係を構築して、卒業生に国際社会との橋渡しの役割を担ってもらうこと、③国際的なパートナーとの質の高い共同研究を容易にし、その結果として世界的にみても最高レベルの研究成果を発表して中央大学の評価をさらに高めていくこと、等を掲げています。

現在は、この「International Strategy」を柱に国際化推進担当の副学長・学長専門員・国際交流センター所長等が中心となっ

て「中央大学国際化アクションプラン」を策定し、各教授会に対して具体的実施に向けた検討を要請しているところです。

このアクションプランは、積極的な海外派遣と質の高い留学生の確保等をめざしていますが、具体的には、①現在約600人の外国人留学生を5年後には2倍に増やすこと、②英語による専門科目授業を拡大すること、③海外留学に行きやすい環境を整備すること、④「中央コミュニティ」を活用して卒業生との国際的なネットワークを強化すること、⑤優秀な留学生・研究者受け入れのための国際寮を建設すること等を盛り込んでおり、近々に具体化の詳細をお伝えできるものと思います。

その中でも卒業生との国際ネットワーク作りでは既にソウル・上海・バンコク・台北・バンクーバー等でお力添えを頂き、海外における人的拠点形成として本学の国際化推進の要となっています。

今後とも、この国際化戦略を実現すべくあらゆる努力をする一方で、本学の長く輝かしい伝統を誇り、定評のある日本の大学としての独自性を世界にアピールしていく所存ですので、今後ともご支援の程よろしくお願いいたします。

中央大学と日本医科大学が連携協力の協定

本学永井学長、日本医科大学田尻学長による調印式を実施

中央大学と日本医科大学は、各々の研究活動に資するため、これまで二度にわたり「医学・工学の連携を求めて」をテーマとした学術合同ワークショップを開催するなど、連携を強めてきました。

このたび、今後の両大学のさらなる発展をめざして、教育と研究の双方にわたって広く連携を図り、学術研究の成果

を共有し社会に還元するため、教育・研究に関する包括協定を締結することとしました。

この協定に基づく教育・研究交流を通じて、理学・工学並びに医学に関する学術研究交流の促進をはじめとした両大学の教育・研究の新たな展開が期待されます。

